東商LADY

第2号

2002.4

「座談会」伝統ある女性会の歴史について

今回、東商女性誌『東商LADY』第2号を発刊するに当り、女性会の歴史を掲載することにさせて頂きました。

現在女性会では昨年から「パワーアップ2002」を掲げて500人会員を目指しております。そこで現在の会員の皆様もこれからお入りになろうとなさる方々にもやはり格式ある女性会の誕生話やその歴史をご理解して頂きたいと思いまして、このような企画を致しました。どうぞ宜しくお願いします。

ご出席者
- 小泉清子名誉会長
- 飯嶋モト子常任顧問
- 谷静子常任理事
- 齋藤朝子会長

進行役
- 安間百合子副会長
- 山口交流広報副委員長

齋藤会長　本日はお忙しいところお出まし頂きまして有難うございます。この女性会、五十四年の歴史の中でその時々に授労のお役目でこの会を支えてきて頂いております、お三方でございますけれども、今日は創立初期の事とか、私達現在の会員が知らないこと等、エピソードを盛り込みながら語って頂きたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

司会進行は広報委員の山口が担当いたします。

まずはじめに、現在は「女性会」という名称でありますが、以前は「婦人会」でございました。その婦人会のきっかけとなりましたお話を是非お聞かせ頂ければと存じますが。

小泉名誉会長　創立当初の方々はもう他界しておりまして、私が入会いたしましたのは、婦人会が出来てからで五、六年は経っていました。

飯嶋常任顧問　それは婦人会が東京で立ち上げた会だと思います。婦人会の立ち上げは、これは多分内務省の方で女性の初の政治家が誕生しまして、それに前後して女性の経営者の方たちにお声をかけ、会員になっていただきたいと言う事で昭和二十四年の九月に設立されました。

谷常任理事　その後、昭和三十四年、一九五九年十月十日に「東商婦人経営研究会」というものが設立されました。その設立趣旨書が手元にございまして、当時の役員、委員、規約、会員名簿等、記載されております。当時会員は三十二名で委員会は総務・財務・企画・渉外・実行の五委員会の構成でした。

その当時の女性会への入会の規定とか、資格はどのようなものだったのでしょうか。

飯嶋　東商の会員であることが婦人会の会員資格となっていました。つまり婦人会に入る方は東京商工会議所の会員でなければいけないということでした。

それは現在と同じルールでございますね。

飯嶋　私がヘチマコロンの藤村様から伺ったことによると、これからは東商で女性の時代が来るということで、竹内様（日本製薬株式会社）という方が呼び掛けをして女性の経営者で婦人会を作ったらどうかということで作られたということです。そして当時二十数名の方が入っていらしたということですが、当時はサービス業は入ることが出来ず、商業と工業のみでした。

婦人研究会の設立については設立趣意書というのがありますが、婦人会にあるのでしょうか。

当時は規約が少なかった

飯嶋　いきさつを説明しますと、最初は商工会議所婦人会というのがありました。当時はご主人や親族（創業者）の後継ではなく、ご自分で創業された、というすばらしい方々です。竹内さんも藤村さんも気骨のある方で、最初はあなたが会長、私が副会長ということでスタートしたのですけれども、当時は今のように規約がないものですから、時が経つに連れていろいろと考え方や方針の違いが現れて、最終的に商工会

議所の専務理事の判断で二つに分かれることになったそうです。

竹内さんは初代の会長ですから「東京商工会議所婦人会」という名称を使われて、藤村さんが「婦人経営研究会」という組織の会を作ったということです。

それから十年近く各々が別々で婦人会組織をやってこられました。当時私は藤村さんの方にいましたし、小泉名誉会長は竹内さんの方に所属していました。

小泉　その通りです。当時私は東商婦人会より前に婦人経済連盟（婦経連）というのがありまして、それに所属していましたが、竹内さんが会長になられて、婦経連もいいけれども東商婦人会ができたからそちらに入るように言われて入ったのです。それが今から四十二、三年前です。

華やかなのでびっくり仰天

小泉　それからサガミゴム（株）の松川様、そして現特別顧問の森井登久子様へ。一九八八年にはもう森井さんがいらっしゃったということですね。そして創設から本日まではこのお二方がよくご存知でいらっしゃいます。私が入会したのは会社を創業してから約十四、五年でしょうか。私は着物を創作して、販売するということについては経験を重ねて来ましたが、経営管理については勉強不足でした。婦人会は皆さんが経営者ですので、そこでマネージメントの勉強をしたいと思っておりました。

ところが当時の会員の方々は、さすがに日本で初めて出来た「婦人会」ですから、大変華やかでびっくりいたしました。私は若かったし恐れをなした事と目的が少し違う事で、その後一九六一年に同じ東商の中で経営専門学院ができましたので、そちらの方に第一期生として入ることにいたしました。

趣旨としては商業と工業だけ。弁護士さん、お医者さんダメ！

ちなみにその当時、婦人会のメンバーの皆様ご職業とはどういったものだったのでしょうか。

小泉　商工会議所の趣旨としては会員の職種は商業と工業でなくてはならなかったのです。サービス産業もだめ。それから今でいう知的産業、弁護士さんもだめ、お医者さんもだめ、税理士もだめ。とても狭かったのです。

そして、女性が起業されるという方も少なく、そんな中での婦人会は素晴らしかったと思います。

谷　それだけに皆、非常に真剣に良く勉強し、なんとか諸先輩の知識・経験を吸収しようと努力していました。また、華やかな方と申しますと竹内さん、藤村さんのようにすでにその道で成功されておられ、贅沢でなく、むしろとても素敵でオシャレな雰囲気でした。

小泉　大体化粧品を扱っている方が多かったです。藤村さんにしてもそれは、たいへんなご活躍ぶりですごかったです。当時は規模が今とは違いまして、中小企業といっても大企業だと思いました。

私は竹内さんが会長のとき、竹内さんからすすめられて入会したのですが、竹内さん自体が大きな製薬会社を経営していました。学校でビタミン剤を飲ませるという運動も竹内さんが始められたと思います。

男性中心の東商のメンバーの中に数少なく入っていらっしゃる女性経営者ですから。言ってみれば大企業でしたね。ですから皆さんその当時の会長、副会長の方は議員さんでもあったわけです。そして、すごく開拓精神があってそれぞれ個性豊かでした。アメリカに同行した時はびっくりしました。日本女性なんだからみんなで着物着て誇りましょうと羽田空港から一同訪問着姿で出発しました。アメリカで素地のお付き合いをして、とても勉強になりました。

確かにいろいろな方が時々に登場され関わり、組織的に確立されてきたかと思います。

一八〇度変わったのは小泉会長から。

つづく

次回予告トピックス

- 料亭に行って頼まれて……、
- 森井登久子特別顧問と全商婦連。
- 商工業以外はダメだった大阪。
- 〝女のくせに〟とか〝女だてらに〟とか？
- 今まで目立たなかった弱さとは。
- 女性に狭き門の銀行融資。

Greeting

●会長ごあいさつ

東京商工会議所女性会　会長
（株）山翠楼　社長
齋藤朝子

ピンチはチャンス

今日の日本経済は長引く経済不況の中にあって、一日も早い景気回復が切望されております。しかし、ピンチはチャンスとも言われています。会員のみなさま各々の企業においては、知恵と努力を持って力いっぱい活動していらっしゃる姿勢の中に女性経営者としての誇りとパワーを感じております。

一月二十二日に帝国ホテルで行われました新年懇親会は山口会頭をはじめ多数のご来賓にご臨席いただき、会場溢れるばかりの盛況のうちに、なごやかな楽しい会となるとともに、行き先の見えない大海原の嵐の中を一緒に乗り切る思いを勝ち得ることが出来たのも、担当の交流委員会はじめ会員の皆さまのご尽力、ご協力によるものと心より感謝申し上げます。

会員全員が参加できるように

さて、昨年までは委員会、特に委員会内の方々への呼びかけでさまざまな工夫を凝らした活動を働きかけておりましたが、内容の充実した企画が多く、ご参加の方々にご好評を頂いておりました。そこで、今後主な活動においては、委員会の枠を取り払い会員全員が参加できる方がメリットになるということで、全会員にご案内をいたすことになりました。

今までは「社会問題」「交流・広報」「情報ネットワーク」「経営問題」の四委員会が各々のテーマを揚げて活動いたしておりますが、今後は東商本体の委員会とも連携して、ますます内容の充実した、広い視野に立った委員会になるものと期待いたしております。

また、会員のみなさま方には、必ず何れかの委員会に所属していただき、自分達の女性会、会員がメリットを実感できる組織とし、共に女性の立場から意見具申が出来るように育てて行こうではありませんか。

パワーアップ2002

昨年九月キックオフいたしました会員増強推進運動は、東京二十三区を東西南北の四地域に分けて、各エリアごとに副会長を筆頭とする十名程度の組織基盤強化チームを結成し、積極的に勧誘活動を進めております。

来年三月末までに五〇〇名会員を目標にしておりますので（平成十四年三月現在四〇〇会員）、みなさまのお知り合いの中で東商女性会に入会していただくのに相応しいという方がいらっしゃいましたらご紹介くださいますようお願いいたします。

また、基盤強化チーム（委員）にはどなたでもご所属・ご就任いただけますのでご遠慮なくお申し出ください。強化委員としての活動は、担当地域とのネットワークを築くことができ、会のパワーアップだけでなく自分自身のパワーアップにつなげるチャンスとも言えるでしょう。まずは積極的な行動を起こして参りましょう。

交流・広報委員会報告

華やぎの新年懇親会

平成十四年一月二十二日（火）帝国ホテル「光の間」にて歴代の女性会会長を始め役員の方々、そして新入会員が一同に会する新年懇親会が開催されました。

来賓に山口信夫会頭を始め、九名の方々にご臨席を頂き、一段と趣きのある懇親会になりました。

会頭のご挨拶の中に「男女共同参画社会の実現が今こそ大切な時で、女性会の方々と力を携えあってこれからの社会を創造してゆきましょう。」とのお言葉。食事は試食会で吟味されただけあって味、量、色彩とも春らしく、皆様も満足の様子。程良くお腹もいっぱいになったところでトリオアモールの演奏。聴き慣れたラテンのリズムに会場の皆様の体が自然に揺れ、気持ちも解れて会話も弾んでいました。

お楽しみの抽選会。抽選していただく方の席へ伺って引いてもらうことで時間が短縮され、間伸びしなくて大変良かったと思います。賞品は小泉名誉会長ご提供はじめ豪華な品々。そしてメリーチョコレートカムパニーより参加者全員へお土産。

例会や講習会でお会いする女性会の面々と異なり、さすが一流のキャリアウーマン。エレガントで華やぎのある会となり、あっという間の二時間半のひとときでした。

［記／八木美重子］

特別レポート 社会問題委員会

社会問題委員会では昨年から「食育」をテーマとした問題に取り組んでまいりました。

私は仕事柄海外に出ることが多く、行き先々の国の文化にふれ、人間は「環境」と「食べ物」に大きく影響を受けていると感じ、その中でも「食文化」というものに大変興味を持ち探求してまいりました。

「環境」は宇宙や気候など自然環境だけでなく、家庭や学校、国や社会や地域、そして職業や文化など、さまざまな形があります。「食べ物」とは自然環境の一部を取り入れる事を意味し「環境」と「食べ物」を配慮することが「美しくすこやかな心と体をつくること」につながると思っています。

■明らかな食との因果関係

「食育」には現代栄養学をはじめ、いろいろな方法が研究されておりますが、今回はその中でも日本の伝統食を体系化した「マクロビオティック」をクローズアップしてみました。

この食養法は五〇年前日本からアメリカを中心に海外に広められ、カーター元アメリカ大統領、歌手のマドンナ、俳優のトムクルーズなど多くの著名人が実践し、現在では世界各国に広まっています。

肉の食べ過ぎと成人病との関係は、アメリカなどではかなり早くから指摘され、食と成人病との因果関係がはっきり認められています。

十九世紀まで欧米では穀物中心の食生活でしたが、二〇世紀に入ると肉や牛乳、砂糖、精製食物などが増え、野菜も加工された一部だけを食べるようになりました。さらに一九五〇年代から農薬や添加物が加わり、その結果アメリカでは二〇世紀初頭まで二十五人にひとりの割合だったガンが今では二人一人になっています。

また六人に一人が心臓病、アレルギーは七人に一人です。ウィルス性の病気が増え、それに伴い何故か犯罪も増加しています。これらの元凶は欧米人の食生活にあるとボストン在住の「マクロビオティック」の研究家は指摘しています。

■マクロビオティック

では、「マクロビオティック」とはどういったものなのでしょうか。「マクロビオティック」とはギリシャ語で「マクロ＝大きい」「ビオス（バイオス）＝生命」を意味します。

これは環境と食べ物を十分に配慮し、簡素でバランスのとれた食事を摂ることで健康が保たれるという理論で、栄養学や生理学などミクロからの視点を包含しつつ、そこに欠けている「全体」との繋がりを重視することで、それによって「身土不二（しんどふじ）」「一物全体（いちぶつぜんたい）」という二つの原則に派生、それに従うことによって心身ともにバランスが取れた生活を送れるという論理と方法です。

■「身土不二」と「一物全体」

「身土不二」、それはその土地で季節に応じて自然に採れたものを中心に食べれば、その気候や風土に適応した季節の変化に身体がついて行くことが出来るという論理です。

例えば熱帯の作物や夏の野菜には人間が暑さに耐えられるように体を冷やし、ゆるめる成分が多く含まれています。反対に寒い冬に熱帯の果物や夏の野菜を食べると体が冷えて具合が悪くなります。今は一年中同じ物、また世界中のあらゆる食べ物が季節を問わず手に入いるようになりました。これらは嗜好品としては良いかもしれませんが、それで身体の土台を作ることは出来ません。

次に「一物全体」ですが、一つのものを丸ごと食べるという意味です。一つにまとまりがあるものはいろいろな面でバランスが取れ、生命力に満ちた食べ物といえます。

例えば、ビタミンやミネラルが多く含まれている穀物の皮や胚、野菜の皮や根など全部を摂ることに意味があると言うことです。

■「和食」にみる完全性

「身土不二」の原則に見合った食事とは、先祖代々受け継がれてきた伝統食「和食」にみることが出来ます。ご飯に味噌汁。煮炊きした野菜、豆類、漬物に麺類、雑穀、魚、調味料は味噌、醤油、自然塩が基本です。動物性のもの特に肉はあまり食べず、穀物や野菜を中心とし季節のものを季節ごとに食してきました。これらは非常に消化吸収されやすいように出来ています。

しかし残念ながら現在の日本は欧米の食文化を取り入れていますから、因果関係から鑑みるとアトピーやガンが増え、精神的な病気や青少年の犯罪も多発しているように思われます。

■「キレる」子供たち

小さい頃から甘いお菓子を大量に食べ、清涼飲料水を水替わりに飲みながらファーストフードを食べて育った若者達は、背が伸びた分、立っていることが困難で、どこでも座り込んでしまう光景を目にする事がありますが、理由は糖分の摂り過ぎです。ミネラル不足によって身体を支えることがきつく、自然に座り込んでしまうのです。また、すぐカーッとなって「キレる」といった頭の働きはマクロビオテック的にいうと、動物性食品の食べ物と甘いもの、清涼飲料水の摂り過ぎからです。

校内暴力で問題になった凶暴な性格の中学生の食生活を調べたところ、清涼飲料水を毎日1リットル飲み、インスタントラー

参考文献／久司道夫著「地球と人類を救うマクロビオテック」日本ＣＩ協会・正食協会共編「マクロビオテック」

メン、ハム、ソーセージ、肉をよく食べ、野菜を摂らない生活でした。糖分を大量に摂ると脳の働きを鈍くするので、眠くなったり、注意力が散漫になります。

さらに無視できないのが食品添加物や調味料などの化学物質による体内への悪影響です。ジャンクフードと呼ばれるお菓子を大量に摂る子どもは、体を動かしていないと落ち着かない状態になります。「食」と言う字は「人」を「良」くすると書きます。性格も食べ物を選ぶことによって改善することができます。低学年の残酷な犯罪が増加している現状に、心の教育と、食生活の改善の必要性を痛感いたします。

食生活の改善と体験的情操教育

子供たちには「マクロビオテック」的食生活の実践と「体験的情操教育」で自然と接する機会を多くすることを提案します。自然と親しむ情操教育は愛情豊かな心を育むのに役立ちます。人間は自然から受ける波動、温度や湿度、風の動き、太陽光線、空の星等、さまざまなものの波動や印象といった中から人間同士の関係や思い遣り、いたわりなどの感覚を養ってゆきます。逆に、自然との接触が少なければ少ないほど、人間として如何にあるべきかといった考え方の基準が失われていきます。

忙しい社会情勢の中でも家族の健康は守りたいものです。また「食」を見直すことで成人病が減ります。多くの子供たちに見られる、落ち着きがなく、持続力不足のキレやすい性格も穏やかになります。正しい食生活を考えたメニューを立て、食事はゆっくりと家族揃って。食べ物は良く噛んで、腹八分で食べ過ぎないこと等、今から、出来ることから実践することが必要なのではないでしょうか。

皆様のご意見ご感想をお聞かせ下さい。

［記／阿久津扶見］

情報ネットワーク委員会

ＩＴ技術の急速な進展は、中小企業における経営環境をも激変させています。ＩＴ環境をいかに構築して事業を展開していくかは、今や全ての企業で重要な課題のひとつになっています。

私どもの委員会では、これからの中小企業にとって必要なＩＴの知識を学び、いかにＩＴを自社の経営に活用し、ビジネスチャンスを獲得するかを考える機会を提供できればと考えております。

平成十四年度の活動予定としては

①ＩＴ先進企業の視察会。

②情報化時代を先取りする経営者や専門家の講演会及び勉強会の実施。

また、急激に変化する経済、社会環境及び次代を担う子供たちの教育問題にも言及し、豊かな社会を創っていくためには男女がともに人権を尊重し合いそれぞれの個性を発揮できる「男女共同参画社会」を築いていくことが重要と考えます。

ビジネスのＩＴ化は女性の社会進出を促し、今後ますます女性の活躍の場が広がることが期待されます。私共は男女共同参画社会の実現に向け、将来的には女性の立場から意見具申が出来るような環境づくりに取り組みをしたいと考えております。

［記／須永明美］

経営問題委員会

世界中を混乱と悲しみに巻き込んだ多発テロ、長く続く日本経済の低迷、政官の不信……。

しかし、経営問題委員会は混乱にめげず、女性経営者としての追究を有意義に楽しく続けております。各テーマ毎に担当副委員長が意欲的な研究心を持ってコミュニケーションを大切にし、会員中心の活発な進行をしております。

・税制改革への取り組み。

女性会監事で税務会計コンサルタントの若林和子氏の講演。

直面している問題をわかりやすく体験談も交えて活発な意見交換。企業経営に直接影響する税制問題を更に探求する。

・公的資金活用術

社会保険労務士の山下晃氏の講演。

・例会企画

孔子第七十五代子孫孔健氏講演。「これからの日中関係・中国人から見た日本人」

・元気の良い企業視察

山野敬子委員、久家道子理事、現在に至るまでのご活躍の忌憚なき講話。山野寿子副会長「輝いて」講話予定。

・男女雇用機会均等社会実現への取り組み

内閣府男女共同参画局、局長坂東真理子氏講演。

政府の方針や女性の社会進出への大切なポイントを確認。また、初の女性局長として仕事と家庭を両立してこられた自らの体験談を交えながらフランクで熱意、誠意あるお話になり、会員の活発な質問に丁寧に回答され、時間がたりないほどに。

議員、大臣等の重要なポストに女性が選出活躍しはじめた今、男女共同参画社会確立へ向けた、絶好の認識の機会と思い、さらに追究して参ります。今後も委員会は、聡明快活な女性経営者が日本経済の未来への光明となれるよう努めます。皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

［記・大橋美恵子］

アンケートご協力ありがとうございました。掲載項目以外の回答に際しては今後の資料として活用させていただきます。

新入会員の意識と声

昨年から展開している会員増強運動によりましてたくさんの方々が入会されています。そこで新入会員の皆さんとの対談とアンケート調査をまとめてみました。

最近の会員の考え方や思い、展望など、これからの女性会にとって必要な何かを知り、新入会員と会員の交流を活発にし、女性会に積極的に参加していただけるようになれば幸いです。

●なぜ企業家（事業主）となったか

子供（学生）の頃からの夢、目標だった……6％
職歴・経験を活かして独立……53％
突然家業（事業）を継ぐことになった……13％
意識的に家業（事業）を担うことにした……26％

●今の事業で一番苦労しているところは

利益の減少……40％
人材の育成……20％
後継者問題……10％
資金繰りと調達……30％
その他［時代の変化に自分の仕事を合わせること、新しいことへの試み］

●これからの中小企業の在り方について

業種・業態にとらわれず新しい道を積極的に切り開く……38％
経営者自ら情報収集、自己研鑽に努めリーダーシップを発揮する……44％
事業の基盤を海外に求める……10％
しばらくじっと耐えるのみ……5％
その他［信頼される業者であること、誠心誠意長年培った顧客に接し、努力する。］

●女性会に何を望むか

男女共同参画社会実現へ向け女性経営者の声の集約と各方面へのアピール…13％
会員相互の交流・ビジネスチャンス拡大につながる場の提供……36％
経営に役立つ有利な情報の提供……27％
地域社会への貢献……13％
国内の関連団体との交流……4％
海外の関連団体との交流……10％

●女性会での個人的な活動・目標は

委員会に所属しその研究課題に取りくむ……5％
新たな人的ネットワークの構築……38％
勉強会・講演会などへの参加……33％
ビジネスを目的とした交流を図りたい……27％

●あなたの座右の銘（書）があったら教えてください。

・希望は強い勇気であり、新たな意志である。
・努力は必ず実る。
・心身ともに元気でいて他人に迷惑を掛けない。
・数抱の大木に数尺の朽ちたるところあれども良工はこれを捨てず。
・良きにつけ、悪しきにつけ親の名が出る母校の名が出る。良き事において名を挙げよ。
・口に蜜持ち蜂は尾に毒を持つ。
・初心忘するべからず。
・天は自ら助くるものを助く。

新入会員オフレコ・アレコレ

先日新入会員と広報委員との座談会が行われました。その中での会話を抜粋でご紹介いたします。

Q1 何故企業家となったのか。

平木様　前任者が介護のため忙しくなり、急に常務となった。事業家としての転換がいまだに上手にこなせていないのが歯がゆい。仕事上、不規則な生活になりがちだが時間を遣り繰りしながら家庭と仕事を両立させている。

佐藤様　小学校の頃からソロバンなど数字に関わることが本能的に好きで、いずれは事務屋になる事が夢であった。上京し、税理事務所に勤務、三十一才で国家資格を取得、三十四才で独立。現在に至っている。

「目標を持って精一杯努力すれば報われる」を信念としています。

Q2 女性が仕事をしていく事に関して

佐藤様「中小企業と運命を共にする」というのが私の経営理論。東商ＬＡＤＹの創刊号で山口会頭が「健康な日本の創造を目指して」を読み、共通した理念がうれしかった。仕事上の女性の自立とは権利の主張ではなく、女性として思いやりを持つことこそ理想の女性企業家であると齋藤会長の挨拶で思った。

中小企業の活力は女性（妻や母）の力ともいえる反面、本当の意味での女性の自立はまだ確立途上なのではないかと思う。

Q3 仕事に携わっている女性企業家の育児の実際については

平木様　女性が子供を施設に預けて働くことは、子供に犠牲を強いて良い影響を与えていないといわれている反面、預けても一日に1回は子供との緊密なスキンシップの時間を持つことで子供は健全に育つという実証がされている。

Q4 女性会に入り期待することは

・人との出会いで人生が決まる。何事にも興味を持ち、もっと勉強し自分自身の引き出しを増やしたい。
・社会的に責任感のある方々なので安心して交流できる。
・商工会議所がバックにあるので仕事上の大きな問題を相談できる。
・委員会に所属し、興味ある勉強会や講演会に進んで参加し自信を高めることができる。
・会員の皆さんが、仕事上の男女意識、年齢にこだわりなく前向きに仕事をしている姿を見て、皆さんとの出会いが勉強になると思った。

今回のお二人は、母であり妻であり、起業家である方と税理士一筋で成功された方と対照的な対談でしたが、お互いに女性企業家として確固たる信念を持って臨んでいる姿が良く分かります。いろいろな面で女性会が新しい会員の皆さんの大きな後ろ盾になれたらと思います。

ご協力ありがとうございました。

［記・野末泰子］

平木幸子　（名）平木製菓
佐藤廣子　税理士／佐藤廣子事務所（敬称略）

とっておき情報

東商ＬＡＤＹでは会員の情報を活性化するため皆様から頂いたとっておきの情報やスポット・穴場をご紹介したいと思います。スペースの都合上掲載件数は限られますが、是非とも情報をお寄せ下さい。

テディベア生誕100周年記念
第10回日本テディベアコンベンション
2002年7月20日(土)11時～17時
21日(日)10時～16時の2日間
東京都産業貿易センター全館　浜松駅下車
港区海岸1－7－8

日本はもちろん海外のテディベア作家の作品が大集合！　テディベア造りの材料などテディベアに関するあらゆる情報と関係者が一同に会する大イベント。是非会場へ足をお運び下さい。

お問い合せは日本テディベア協会
（03－3770－8539）

ご紹介者はプリメーラ株式会社　赤田はつ子様です。ありがとうございました。

年間スケジュール

◎社会問題委員会
食育に関する講演会（5月開催予定）
ワーキンググループ意見交換会等
開催予定

◎ 交流・広報委員会
本委員会開催(4月、6月、9月予定)
交流イベント開催（時期未定）

◎情報ネットワーク委員会
ＮＴＴドコモ視察会（5月14日開催）

◎経営問題委員会
本委員会・勉強会開催
（4月、6月、9月予定）

イベント
関東商工会議所女性会連合会総会土浦大会
（4月12日）

例　会
ネットワーク例会（5月開催予定）
講演会（7月開催予定）
新入会員オリエンテーション(5月9日)
東商女性会総会（6月開催予定）
組織基盤強化委員会議
（6月、9月開催予定）
全国商工会議所女性会連合会総会福岡大会（10月4日）

各委員会では上記の通り、勉強会および講演会、イベントを企画予定しております、詳細は事務局（3283－7577）までお問い合せ下さい。

Horoscope・(4月～9月)

牡羊座　頭より体を使ったほうが収穫も上がる時。考え込むより積極的に動き回って快調運。
牡牛座　スケールの大きさより現実重視。腰を据えてジックリと将来や仕事の計画を練って。
双子座　知識欲を活性化すべし。知性派の友人や先輩との会話から得るモノが。宴会にカギ。
蟹　座　意見や希望が通らず自信喪失してしまうかも。でも事態は見えない処で着々と進展。
獅子座　大逆転の暗示。ただし上手く行っていた問題に突然のブレーキ。根回しのチェックを。
乙女座　ケアレスミスが多い。単純な問題ほど落とし穴にはまる恐れも。用意周到に動け。
天秤座　目前の雑用に追われて物事が行き詰まる。大事でなければ後回し。優先順位を考えて。
蠍　座　悩み事のある人、問題の原点に戻って考え直せ。解決の糸口がきっと見つかるはず。
射手座　やれば出来る！の強運気。クリエイティブな才能が開花の兆し。創作活動にトライ。
山羊座　有言不実行になりがち、信用を失いたくないなら余計な事を口走らない方が安全。
水瓶座　考えが行き詰まったら一息いれよう。切り口や角度を変えれば新発想も生まれます。
魚　座　対人トラブルに注意。誰に対しても低姿勢で接しないと痛い目に合う。安全圏内へ。

交流・広報担当
副会長
安間 百合子
ヤスマ株式会社
代表取締役副社長

前任の石井副会長に代わり交流広報委員会の担当をさせていただくことになりました、安間でございます。経済情勢の厳しい中、東商女性会の活躍が注目されております。女性ならではの知恵と発想が21世紀の転換のエネルギーの起爆剤となりますよう務めて参りたいと思います。昨年より発刊しました東商ＬＡＤＹを通して、会員、新入会員の皆様の交流がさらに広がり、情報はもとより、会そのものがフットワーク良く、活動のしやすい場所となるよう、お力をお貸し下さい。皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

事務局だより

info tosho ladys

昨年十月に発行いたしました「東商ＬＡＤＹ」創刊号は、会員の皆様に実施したアンケート調査におきまして、表紙デザイン・内容ともに七割以上の方から「大変良い」「良い」という評価をいただきました。また、先日行われました、宮城県商工会議所女性会連合会との懇談会におきましても、本誌に関する質疑が熱心に交わされ、他地区の女性会からも高い評価をいただくことが出来ました。これも偏に、原稿にご協力いただきました皆様をはじめ、作成・編集に携われた方全員のお力の賜物と心より感謝申し上げる次第でございます。今後内容を更に充実させていくためにも、より多くの会員の皆様に広報委員としてご参画いただきたく、興味をお持ちのお方がいらっしゃいましたらご意見・ご感想も含め事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

Tel　3283－7577
Fax　3283－7585

編集後記

春は芽吹きの季節。節変りの清明とは陽気も徐々に暖かくなり万物清新の気が満ちることの「清浄明潔」の略。明るく快い花の季節でもあります。東商ＬＡＤＹも第二号の開花を無事迎えられ、内容にも新しい企画やコーナーを考えてみました。とくに〝歴史を語る〟コーナーでは小泉名誉会長はじめ飯島常任顧問、谷常任理事様による対談形式。女性会や連合会の設立にあたってのご苦労やエピソードを語っていただき、目から鱗の貴重な話をありがとうございました。今後も先人の英知を後人に受け継ぐべく、次号にも続けて連載の予定です。また、特集として四委員会で積極的に取り組んでいるテーマを毎号研究発表していただくことも大きなライフジャケットになるかと思います。そこで今回は「食育」を社会問題委員会から。戦後めざましい経済発展の一方で我が家の台所から味の伝承が消えつつあります。家庭料理がもたらす子供の五感や情緒、そして健康を育むテーマは今後も注目すべき世界ではないでしょうか。皆様のご家庭はいかがですか？新入会員の皆様方の活発なご意見もありがとうございました。

去る3月18・19日とディズニーシー視察会が交流委員会主催で行われました。
宿泊先はアンバサダーホテル。日中は参加者それぞれが（43名）テーマパーク内で自由行動。ディナーは特別企画「マジックの間」でミッキーマウスやミニーマウスと記念写真。そして上澤会長様［(株）舞浜リゾートライン］杉野常務様（アンバサダーホテル）よりご挨拶があり、陸をテーマにしたディズニーランド、海をテーマにしたディズニーシーは都市型リゾート地にすべく開発計画されたことや今日の成功に至った三千世界のお話しを伺いました。

記・井上智英子

Tosho Ladys Magazine
東商Lady
2002年4月5日　第2号

発行所
東京商工会議所総務部

発行人
東京商工会議所女性会
会長　齋藤朝子

編集人
東京商工会議所女性会
交流・広報委員会
スタジオキューブ